

重層的・包括的支援体制構築に係る 進捗状況について

(福祉まるごとサポートセンター実績報告)

令和7年8月21日

保健福祉局健康福祉部地域福祉課

千葉開府 900年



千の葉に 時を刻んで 900年

令和6年度 相談対応実績

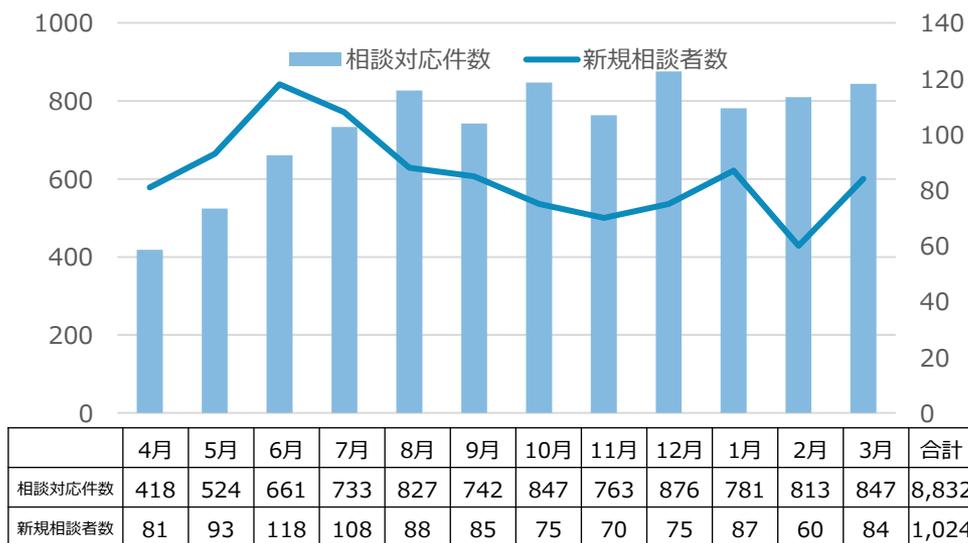
- 令和6年度の延べ相談対応件数は、8,832件（1日あたり平均30.0件）
- 新規相談者数は、1,024人
- 新規相談のうち、660人（約64%）が、公的制度の案内や専門機関への繋ぎなど相談月内で完結
- 本人・家族からの相談が506人（約50%）

①相談受付方法別件数

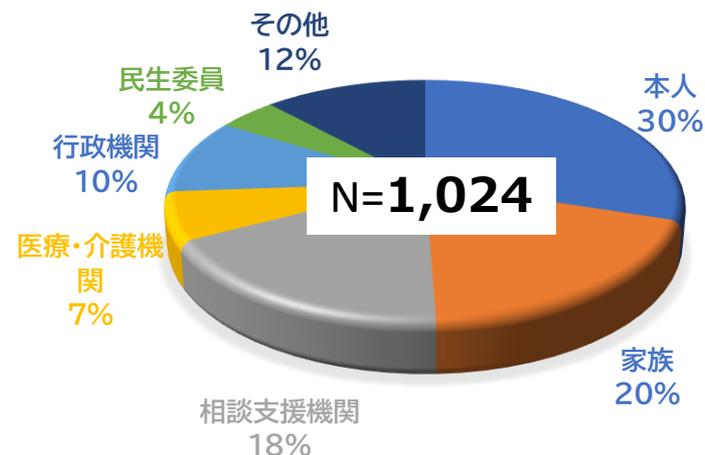
※「その他」は、ケース会議で相談を受けたものなど

電話	来所	訪問	メール	その他	計
6,597	290	793	961	191	8,832

②月別相談対応件数と新規相談者数



③相談者の内訳



④対象者の状況（主なもの）

高齢	障害			難病	生活保護	経済的困窮	不登校ひきこもり	子育て	その他
	精神	知的	身体						
398	236	57	72	8	54	76	30	28	196

※1事案で複数の状況に当てはまるケースあり

主な支援対象ケース

- 8050問題などの**複合的な課題**は、本人や家族のみならず、支援者にとっても解決の糸口が見えにくく、支援が滞ってしまう場合がある。また、解決に向けては**複数の支援機関との調整が必要**な場合が多い。
- **アウトリーチ支援**として、支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人に支援を届けるために、ご自宅への訪問等を実施。**本人との信頼関係の構築**を行い、関係機関等とのつながりの形成に向けた支援を行う。

主な複合的課題

	代表的なケース例	R6対象者数
8050世帯	80代の母とひきこもり状態の50代の息子が、母の年金のみで生活し、生活に困窮していることについて親族から相談	43人
出所後支援 + 住まい等	長期間服役した出所者の生活全般（住居確保・マイナンバーカードの申請・スマホの契約等）の支援について刑務所から相談	30人
ごみ屋敷 + 生活困窮等	障害年金を浪費して生活苦になっているうえ、室内は腰の高さまでゴミが積まれて外まで悪臭を放っていると近隣住民から相談	25人
多頭飼育 + 生活困窮等	生活困窮状態の多頭飼育世帯について、適切に飼育するための不妊手術費用等が負担できずに困っていると関係機関から相談	1人

アウトリーチ実績

R6対象者数（延べ対応回数）

13人

(265回)

【アウトリーチ開始理由】

8050問題・ひきこもり・ごみ屋敷・
障害（精神/身体）多頭飼育・頻回救急

参加支援事業の概要

事業の目的

既存の制度等では対応できない本人や世帯のニーズに対応するため、地域の社会資源を活用し、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

対象者像

既存の制度等では対応できない、個別性の高いニーズを有している方

【具体例】

- ・8050世帯の50代の方など、世帯全体としては経済的困窮の状態にはないが、子がひきこもり状態である世帯
- ・精神的な不調により、社会に出ることに不安がある方
- ・親や家族に頼れず、児童福祉法の対象にもならない10代後半から20代の若者

事業展開の方法

福まるが個別支援を行っている対象者のうち、参加支援事業の活用が適当であると見込まれる方が、本事業の利用を希望した場合には、重層的支援会議を開催し、プランを検討する。同時に、本人のニーズを丁寧にヒアリングし、そのニーズに適合した支援メニューを開拓する。

本事業実施中は、本人への定着支援や、受入先への支援も行う等、福まるは地域資源とのつながりづくりをサポートする。実施後はアフターフォローを行う。

また、支援メニューの選択肢を増やすため、日頃から多分野の団体や企業等に参加支援事業への協力を依頼し、資源開拓に努める。

(参考:参加支援事業への協力事業者等用の案内チラシ簡易版)

あなたの場所が、誰かの第一歩になります
～「参加支援事業」協力をお願いします～

- **参加支援事業とは**
「人とのかかわりが少ない」「家から出るきっかけが欲しい」
— そんな方たちが、少しずつ社会とのつながりを作っていくために
“まずは参加してみる”ことを支援する事業です。
内容は「仕事」「作業」「居場所」などさまざま。
ご協力いただける地域の事業所・団体・個人、あらゆる場所が
参加支援の場になります。
期間や回数は、みなさまのご都合と参加者の希望を踏まえて調整いたします。
- **たとえば、こんな場所が対象になります**
 - ・ 福祉施設・福祉事業所での軽作業
 - ・ 商店や事務所、農園などでの軽作業
 - ・ 地域の集まりや趣味の会への参加
- **どんな小さな活動でも構いません**
「特別な準備」は必要ありません。
あなたの“いつもの場所”が誰かの“新しいスタート地点”になります。

当事者 → 参加機会の紹介 → **福祉まるごとサポートセンター** → 協力依頼 → **地域資源** → 就労体験・交流体験として参加 → **当事者**

地域資源
福祉施設 福祉事業所 | 企業・商店 | 地域の居場所

お問い合わせはこちら
千葉市地域福祉課 福祉まるごとサポートセンター
千葉市中央区尚厩町1-35 千葉ポートサイドタワー11階
電話 043-306-7125/7130
メール fukumaru-sc@city.chiba.lg.jp

【包括的な支援体制 = 支援者をひとりにしない「支援者支援」の取り組み①】

司法と医療と福祉でつながろう！～新つながり隊～

司法・医療・福祉関係者の顔の見える関係づくりのため、福祉まるごとサポートセンターが事務局となって研修を開催し、市内関係機関の円滑な連携の一翼を担っている

(千葉県弁護士会社会福祉委員会所属の弁護士と福祉、医療関係者によるGWや弁護士によるミニ講座等を四半期に1回ペースで開催)

参加者の声(アンケートより)

多職種の視点を学び、何かあった時は相談できるつながりは、支援者も孤立せず、支援の幅も広がり、ありがたいです。(医療関係者)

触法障害者の再犯防止は、権利擁護と権利侵害の狭間で非常に悩ましい。「絶対に断らない」という先生方の言葉が、どれだけ支援者を支えてくれているか、本当に感謝します。(福祉関係者)

開催状況

	開催日	区	開催地	参加者数
R5	R5.11.17	中央区	弁護士会館	84
	R6.3.15	若葉区	若葉保健福祉センター	52
R6	R6.6.14	稲毛区	稲毛保健福祉センター	53
	R6.9.20	花見川区	花見川保健福祉センター	42
	R6.12.6	緑区	鎌取コミュニティセンター	48
	R7.3.13	美浜区	高洲コミュニティセンター	44
R7	R7.6.13	中央区	千葉大学医学部附属病院	61
	R7.7.10	番外編	千葉刑務所見学	29
	R7.9.5	若葉区	若葉保健福祉センター	
	R7.12.5	(区未定)		
	R8.3.6	(区未定)		

【包括的な支援体制 = 支援者をひとりにしない「支援者支援」の取り組み②】

第1回千葉市重層的・包括的支援研修会 ～つなぐ！つながる！みんなでワンストップ～

- 支援関係機関と行政と福まるが手をつなぎ、「みんなでワンストップ」の体制をつくるため、R7.2.27に研修を開催した
- 厚生労働省の基調講演とパネルディスカッションにより重層的・包括的支援体制構築について意識共有を図った
- 行政・関係機関等の職員など82人が参加した



【包括的な支援体制 = 支援者をひとりにしない「支援者支援」の取り組み③】

中央区相談支援機関連携会議

- 中央区の相談支援機関や区保健福祉センター各課と共に、包括的な支援体制について考える会議を4半期に一度のペースで開催している
- 中央区保健福祉センター各課、相談支援機関が定期的集まることで、多世代・多問題家庭の支援について協力し合える関係を築いている
- R6までは情報共有と事例検討を中心に行っていたが、R7は市民に相談機関の周知を図るイベント「夏休み学べるクイズラリー（きぼーるアトリウム）」も8月25日に開催予定

【包括的な支援体制 = 支援者をひとりにしない「支援者支援」の取り組み④】

シェルター会議

- 福まる開設前から障害者基幹相談支援センターと共催で毎年開催している
- 参加者は、シェルターを管轄している本庁所管課（保護課、障害福祉サービス課、こども家庭支援課）、各区障害者基幹相談支援センター、社協コミュニティソーシャルワーカー、一時生活支援を実施している生活自立・仕事相談センター稲毛、一般社団法人マザーズコンフォート等
令和7年度は保護観察所も参加し、更生保護施設や自立準備ホームについて、情報提供をしていただく予定
- 相談支援機関の相談で困ってしまう「今日泊まる場所がない」に対応するため、対応スキルの向上と情報共有を図っている

【包括的な支援体制 = 支援者をひとりにしない「支援者支援」の取り組み⑤】

いわゆる「ごみ屋敷」のごみ運搬に係る共通ルールの整備

- いわゆる「ごみ屋敷」状態のためにヘルパー等の在宅サービスが利用できない等、やむを得ない理由がある場合、関係機関が清掃活動を行うことがある
- 清掃活動後、一時大量ごみの運搬に苦慮していたことから、環境局と協議し、いわゆる「ごみ屋敷」清掃後のごみは環境事業所が運搬するという共通ルールを制定した

いわゆる「ごみ屋敷」における清掃活動の流れ

